

大崎のプレーオフ進出決定！ ホンダ、湧永は3位に並ぶ

～ 第29回日本ハンドボールリーグ第11週～

第29回日本ハンドボールリーグ第11週は12月23日に男子2試合が行われ、V7を狙うホンダがアラコ九州に、直前の全日本総合選手権で優勝した湧永製薬もトヨタ車体にそれぞれ1点差勝ち、同勝点(5勝2分6敗)で3位に並んだ。また単独首位の大崎電気の4位以内が確定し、プレーオフ進出が決まった。

アラコ九州 - ホンダ戦は、前半25分過ぎから柳本の2本の速攻などで主導権を奪ったホンダが15 - 10と5点差をつけてUターン。後半はホンダ・広政のミドルで引き離しにかかるが、アラコ九州は田中のステップや呉相民の速攻などで18分19 - 21と2点差に詰め寄った。その後、3、4点差の争いを繰り返し、アラコ九州は終盤激しいプレスDFで1点差まで追いつき、勝負はラスト2分の攻防に持ち込まれた。28分アラコ九州が呉の7mTで1点差、ホンダは阿部で2点差と引き離すと、その直後に再び呉のミドルで1点差。残り40秒で互いにタイムアウトを取って勝利への意欲を見せ、残り21秒からアラコ九州はスクイプレーを試みたがミスで得点できず、ホンダが1点差で逃げ切った。

トヨタ車体 - 湧永製薬戦は、GK木下の好守を起点とした2次速攻や、野村、香川を中心にミドル、ポスト、サイドとバランスよく加点したトヨタ車体が前半13 - 6とゲームを支配した。しかし、後半に入って守りを固めた湧永製薬が攻撃リズムを取り戻し、小沢、東らの活躍で猛追、17分過ぎには吉田の速攻で同点に追いついた。その後は、両チーム白熱の攻防を繰り返したが、湧永・山口のポストを使った攻撃に守りを崩されたトヨタ車体は退場者を出し、攻めのリズムもかみ合わず、試合巧者・湧永製薬に逆転を許した。初のプレーオフを狙うトヨタ車体にとっては悔やみきれない敗戦、一方の湧永製薬にとっては苦しみながらも3位浮上となる貴重な1勝を拾った一戦だった。



3位浮上の貴重な1勝をモノにした湧永製薬・東

第12週の日程

[1 部]

1月22日(土) 鹿児島・ソニーセミコンダクタ九州㈱体育館(JR日豊本線国分駅徒歩20分) 13:00～(女)ソニ－×HC名古屋
1月23日(日) 広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分) 13:00～(女)メイブルレッズ×オムロン

[2 部]

1月22日(土) 愛知・豊田合成㈱健康管理センター 14:00～豊田合成×HC東京
兵庫・大阪ガス今津総合グラウンド 15:00～大阪ガス×北陸電力

12月23日(木) 男子1部 愛知・知立市福祉体育館	12月23日(木) 男子1部 佐賀・アラコ九州クレインアリーナ
湧永製薬 22 (6 - 13) 21 5勝2分6敗	ホンダ 27 (15 - 10) 26 5勝2分6敗
トヨタ車体 21 5勝2分7敗	アラコ九州 26 4勝1分8敗
1/5 下川 木下 K 0/3 浜本 田中勝 1/2 0/0 福田 田中秀 0/0 3/4 吉田 佐々木 1/2 0/0 小薮 辻 1/1 5/5 1/4 東 野村 3/8 K 坪根 竹下 0/0 1/2 3/10 小沢 北出 4/7 3/3 杉山 田平 K <1/7> K 松村 清水 0/0 3/4 古家 長谷川 0/0 0/0 渡辺 吉田 2/8 2/5 山口 香川 5/7 崎 前 4/8	1/2 中谷 中 畠 5/11 0/0 鶴見 高 山 0/0 5/8 柳 村上直 0/1 1/2 河瀬 植 木 0/1 7/10 加藤 村上秀 4/5 2/5 広政 呉相民 7/16 3/3 5/9 谷口 佐久間 0/0 0/0 鈴野 鶴 田 0/0 0/0 野嶋 田中慎 6/15 3/4 阿部 阪 0/0 K 吉井 谷川 K 1/5 小倉 石 黒 0/0 2/3 羽賀 朴正 鎮 1/3 <0/3> K 四方 吉田 K
6/716/38 ♀ FPP 21 21/43 0/0 審判(楓・渡辺) 観客 518人	0/0 27/48 ♀ FPP 3 23/52 3/3 審判(金子・児玉) 観客 425人

新春1月22日から熱戦再開！

レギュラーシーズンは1月22日(土)から再開されるが、男子はチュニジアでの第19回世界選手権出場(1月23日～2月6日)のためにブレイク期間に入り、第14週までは女子と男子2部の開催となる。女子はV7を狙うクイーン・広島メイブルレッズとオムロンが6勝1敗で並び、レギュラーシーズン1位は残る2試合の直接対決に焦点が絞られる。両者は12月18日の全日本総合決勝で火花を散らし、広島メイブルレッズが優勝を飾ったとはいえオムロンが2点差まで肉薄して実力伯仲を印象づけており、勝敗の行方は予断を許さない。まずは1月23日(日)の首位決戦に注目が集まる。また、北国銀行・ソニーセミコンダクタ九州の3位争いも興味深い。

男子は全チームが第3ステージに突入しており、プレーオフ進出が決まった大崎電気のほか、2位につける大同特殊鋼の優位は動かないが、3位から7位までが勝点4差内にひしめいており、再開後の終盤戦は最後の最後まで目の離せないデッドヒートが展開されそうだ。

男女1部個人賞レース 第11週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 吳 相 民 (アラコ九州) 97点 (13試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ) 66点 (7試合)
2 譚 崇 聖 (ホンダ熊本) 93点 (12試合)	2 富田 有美 (オムロン) 46点 (7試合)
3 金 性 憲 (大同特殊鋼) 81点 (12試合)	3 中村 尚美 (北国銀行) 43点 (8試合)
4 豊田 賢治 (大崎電気) 79点 (13試合)	4 劉 晋 淑 (オムロン) 38点 (7試合)
5 香川 将之 (トヨタ車体) 77点 (14試合)	5 田中 美音子 (ソニー) 36点 (7試合)
6 宮崎 大輔 (大崎電気) 70点 (13試合)	6 小野澤 香理 (北国銀行) 33点 (8試合)
7 白 元 喆 (大同特殊鋼) 64点 (12試合)	7 郭 惠 静 (ソニー) 32点 (6試合)
7 野村 広明 (トヨタ車体) 64点 (14試合)	7 菅谷 美奈 (HC名古屋) 32点 (7試合)
9 岩本 真典 (大崎電気) 63点 (13試合)	9 杉本 絵美 (メイプルレッズ) 29点 (7試合)
10 吉田 真聡 (トヨタ車体) 58点 (14試合)	10 水野 恵子 (オムロン) 26点 (7試合)
11 小沢 勝利 (湧永製薬) 56点 (13試合)	11 青戸 あかね (メイプルレッズ) 25点 (7試合)
12 谷 口 了 (ホンダ) 55点 (12試合)	12 大前 典子 (メイプルレッズ) 24点 (7試合)
13 東 慶 一 (湧永製薬) 53点 (13試合)	12 佐久川 ひとみ (オムロン) 24点 (7試合)
14 山口 修 (湧永製薬) 48点 (13試合)	12 山田 千尋 (ソニー) 24点 (7試合)
15 下川 真良 (湧永製薬) 45点 (13試合)	15 北岡 久 (北国銀行) 23点 (8試合)
	15 洪 延 昊 (オムロン) 23点 (7試合)
	15 上町 史織 (北国銀行) 23点 (8試合)

フィールド得点賞

1 譚 崇 聖 (ホンダ熊本) 92点 (12試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ) 46点 (7試合)
2 吳 相 民 (アラコ九州) 75点 (13試合)	2 劉 晋 淑 (オムロン) 38点 (7試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気) 67点 (13試合)	3 田中 美音子 (ソニー) 36点 (7試合)
4 香川 将之 (トヨタ車体) 66点 (14試合)	4 中村 尚美 (北国銀行) 35点 (8試合)
5 白 元 喆 (大同特殊鋼) 64点 (12試合)	5 小野澤 香理 (北国銀行) 33点 (8試合)
5 野村 広明 (トヨタ車体) 64点 (14試合)	6 郭 惠 静 (ソニー) 30点 (6試合)
7 金 性 憲 (大同特殊鋼) 62点 (12試合)	7 杉本 絵美 (メイプルレッズ) 29点 (7試合)
8 岩本 真典 (大崎電気) 61点 (13試合)	8 水野 恵子 (オムロン) 26点 (7試合)
9 豊田 賢治 (大崎電気) 54点 (13試合)	9 青戸 あかね (メイプルレッズ) 25点 (7試合)
10 山口 修 (湧永製薬) 48点 (13試合)	10 大前 典子 (メイプルレッズ) 24点 (7試合)
	10 佐久川 ひとみ (オムロン) 24点 (7試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 山口 修 (湧永製薬) 48点/ 71射 0.676	1 大前 典子 (メイプルレッズ) 24点/ 33射 0.727
2 豊田 賢治 (大崎電気) 54点/ 84射 0.643	2 水野 恵子 (オムロン) 26点/ 39射 0.667
3 岩本 真典 (大崎電気) 61点/108射 0.565	3 佐久川 ひとみ (オムロン) 24点/ 37射 0.649
4 譚 崇 聖 (ホンダ熊本) 92点/168射 0.548	4 田中 美音子 (ソニー) 36点/ 56射 0.643
5 香川 将之 (トヨタ車体) 66点/127射 0.520	5 青戸 あかね (メイプルレッズ) 25点/ 39射 0.641

7mスロー得点賞

1 豊田 賢治 (大崎電気) 25点 (13試合)	1 富田 有美 (オムロン) 26点 (7試合)
2 吳 相 民 (アラコ九州) 22点 (13試合)	2 山田 千尋 (ソニー) 20点 (7試合)
3 金 性 憲 (大同特殊鋼) 19点 (12試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ) 20点 (7試合)
4 小沢 勝利 (湧永製薬) 15点 (13試合)	4 菅谷 美奈 (HC名古屋) 11点 (7試合)
5 東 慶 一 (湧永製薬) 14点 (13試合)	5 中村 尚美 (北国銀行) 8点 (8試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 坪根 敏宏 (湧永製薬) 6本/ 14射 0.429	1 田代 ひろみ (北国銀行) 9本/ 21射 0.429
2 田平 龍太郎 (トヨタ車体) 17本/ 51射 0.333	2 田中 麻美 (北国銀行) 6本/ 16射 0.375
3 松岡 厚志 (ホンダ熊本) 4本/ 17射 0.235	3 飛田 季実子 (ソニー) 5本/ 19射 0.263
4 萩田 圭 (大同特殊鋼) 5本/ 24射 0.208	4 浅井 友可里 (メイプルレッズ) 4本/ 19射 0.211
5 石原 秀久 (大崎電気) 4本/ 21射 0.190	5 勝田 祥子 (オムロン) 3本/ 21射 0.143

第 29 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表

第11週終了現在 12月23日

順位	1部男子	大崎電気	大同特殊鋼	ホンダ	湧永製薬	トヨタ車体	アラコ九州	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気		30 26	26 30	25 19	29 28 30	32 28	28 29	13	10	1	2	21	360	324	36
2	大同特殊鋼	20 24		27 21	26 18	37 27	28 36	27 31	12	7	2	3	16	322	294	28
3	ホンダ	26 22	26 17		19 21	26 23	27 25 27	23 21	13	5	2	6	12	303	302	1
4	湧永製薬	24 26	20 18	15 25		23 21 22	29 23	28 27	13	5	2	6	12	301	293	8
5	トヨタ車体	19 27 21	21 30	19 23	23 25 21		29 24	29 25	14	5	2	7	12	336	360	-24
6	アラコ九州	29 26	28 28	29 18 26	20 24	21 20		22 29	13	4	1	8	9	320	357	-37
7	ホンダ熊本	26 34	23 27	18 25	30 22	25 28	21 28		12	4	0	8	8	307	319	-12

順位	1部女子	メイブルス	オムロン	北国銀行	ソニー	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルス		28	30 30	33 34	35 29	7	6	0	1	12	219	176	43
2	オムロン	23		29 19	30 30	31 26	7	6	0	1	12	188	148	40
3	北国銀行	22 20	19 17		25 23	21 25	8	3	0	5	6	172	189	-17
4	ソニー-セミコンダクタ九州	35 24	22 24	20 25		25	7	3	0	4	6	175	198	-23
5	H C 名古屋	29 23	16 22	20 16	23		7	0	0	7	0	149	192	-43

順位	2部男子	北陸電力	H C 東京	トヨタ自動車	大阪ガス	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		29 24	33 28	33 29	36 35	8	8	0	0	16	247	156	91
2	H C 東京	26 23		26 20	39 32	37 25	8	6	0	2	12	228	143	85
3	トヨタ自動車	17 13	10 15		29 26	29 38	8	4	0	4	8	177	194	-17
4	大阪ガス	19 17	13 17	23 20		26 30	8	1	0	7	2	165	243	-78
5	豊田合成	23 18	13 22	20 24	30 25		8	1	0	7	2	175	256	-81

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。